

## 宗像市防犯カメラの運用開始について

- 運用開始式
  - ・ 4月7日(土) 9:00~9:30
  - ・ 場所 教育大前交番前
  - ・ 出席者 宗像市長、宗像警察署長、県警生活安全総務課室長、赤間地区コミュニティ運営協議会会長、赤間自治会会長代理、宗像警察署職員、生活安全課職員、学校管理課職員
  
- 設置場所及び台数
  - ・ J R教育大前駅周辺：14台、大井南自治会：2台
  - ・ 市内12小学校：34台
  - ・ 市内6中学校：17台
  
- 画像の録画及び保存
  - ・ 録画時間：毎日24時間録画
  - ・ 画像保存期間：録画日を含めて7日間~10日間(上書き消去)
  
- 画像の外部提供
  - ・ 法令に定めがあるとき(刑事訴訟法等の法令に基づく照会)
  - ・ 人の生命、身体又は財産を保護するため、緊急かつやむを得ない場合
  - ・ 捜査機関から、犯罪捜査の目的により文書で要請を受けたとき
  
- 今後の予定
  - ・ J R東郷駅日の里口：5台(24年度中に運用開始予定)

# 宗像市内全18小中校に51台

## 防犯カメラ本格運用

前も  
大前も  
教育周  
駅周

宗像市は新学期が始まった6日、全18小中学校(離島を除く)で防犯カメラ51台の本格運用を始めた。7日からはJ.R教育大前駅周

刃と大井南の街頭にも16台を導入する。小中学校には、死角とされる正門や玄関、運動場など一校につき3カ所に設置した。全校

とも場所によっては防犯カメラの設置が約1755万円。市教育政策課は「児童・生徒、教職員の安

全確保と併せて不法侵入の抑止や器物損壊などの事故が発生した際の有効な解決手段になる」と話す。

一方、J.R教育大前駅周辺では、福岡教育大正門近くや学生アパートが集中する地区など14台設置。新興住

宅地の大井南には2台設置した。費用は約1000万円。

宗像警によると、市内では昨年、痴漢やのぞきなどの性犯罪が48件発生。うち教育大周辺地区が18件と全体の約40%を占めたことから設置を決めた。

市が決めた運用ガイドラインでは、外部への画像提供は禁止するが、捜査機関から犯罪捜査の目的で文書による要請があれば提供される。録画は24時間。学校は職員室などでモニターを管理する。

【中原剛】

西日本  
4/7朝刊

宗像市が防犯カメラ18の小中学校に設置

宗像市は新学期から、全小中学校の校舎の壁に防犯カメラを18校に防犯カメラ計51台を設置した。7日(土)、女生入のしきりなどが顔出ししているJ.R教育大前駅周



録画式で撮影し、防犯カメラ(左)を眺める河原田小の児童たち

辺などの街頭にも16台を導入する。定住痴漢やとして掲げる安心・安全なまじりの一環。

学校のカメラは各校の校門や運動場などに設置。24時間録画を続け、警務課のモニターで監視できる。

録画した画像は市の防犯カメラ運用要領に従い、各学校長の市に報告し、必要に応じて見せられると語った。

# 駅周辺に防犯カメラ16台

J.R教育大前で設置、運用

宗像市のJ.R教育大前駅周辺に防犯カメラが設置され、運用開始式が7日、同駅前で行われた。

同駅周辺は、公然わいせつや痴漢などの発生件数が高い地域。市は駅近くの街頭を中心に防犯カメラ16台

を設置し、今日(7日)から運用を開始した。

式典で、谷井博美市長は「市と警察が一体となって安全、安心の町づくりを取り組みたい」と述べた。

同市内では、離島を除く18小中学校にも計51台が設置され、今月から運用が始まっている。防犯カメラは毎日24時間録画され、犯罪が発生した時などに活用される。